

船越小でNHKの出前授業 放送の体験に目を輝かせる

船越小学校（佐々木道雄校長・児童173人）では、2月9日に「NHK出前授業」が開かれました。NHKが放送局の仕事や公共放送の役割を正しく理解してもらおうと全国の小学5年生を対象に行われているものです。この日参加した同小5年生27人は、NHK盛岡放送局の社員7人から、放送の重要性やキャスターの仕事について説明を受けました。その後、カメラやリポーター役などに扮しての中継放送の体験が行われると、児童らは初体験の放送局の仕事に目を輝かせて取り組んでいました。



フルートとハープのコンサート 美しい旋律に観客聞き入る

2月12日、本町出身のフルート奏者の山崎鮎子さん（旧姓・舟田）とハープ奏者の中山櫻子さん（東京都出身）によるハープ&フルートデュオコンサートが開かれました。これは、やまだまち女性セミナーが主催して行われたもので、会場となった町中央公民館大ホールには250人が来場。「赤とんぼ」など馴染みのある曲やアンコールに演奏された「山田町民歌」など全15曲を披露。フルートとハープの奏でる美しい旋律に会場は心静かに聞き入っていました。

東北ふるさとCMフェスティバル 本町作品が岩手代表で参加

2月3日、東北ふるさとCMフェスティバル2011の収録が仙台市で行われ、本町の作品「うまいかけ算」が岩手県代表として参加しました。これは、東北6県のふるさとCM最優秀作品を持ち寄り開催されたもので、今回で4回目となります。本町からはCMに出演した大浦小6年生11人と担任の澤藤雅彦教諭、CM制作を担当した町総務課職員が出席し町の魅力をアピールしました。最後に各市町村へ番組独自の賞が贈られ、本町は「ふるさとおいしいアイデア賞」を受賞しました。





今月の題字

小野寺 琉実 ちゃん
(山田南小3年)

町のわだい

豊間根中生徒から温かい善意 車いす1台を町に寄贈

2月18日、豊間根中学校(高橋勝校長・生徒89人)では、リクライニング式車いすを町に1台寄贈しました。これは、資源回収活動の益金で購入したもので、今回で17年目、合計36台を町に贈っています。贈呈式には、前生徒会長の野崎恭介君(3年)と現生徒会長の佐々木柚紀さん(2年)が出席。沼崎喜一町長に車いすを引き渡しました。沼崎町長は「この取り組みを後輩たちに伝えてください」とお礼を述べていました。車いすは山田町社会福祉協議会を通じて、体の不自由な町民に貸し出されます。



山田南小で選挙啓発授業 責任ある未来の一票を誓う

県明るい選挙推進協議会宮古支部などが主催する「明るい選挙啓発授業」が2月15日、山田南小学校(佐賀敏子校長・児童304人)で行われました。授業では6年1組の児童27人が選挙の歴史や投票率の変化、「三ない運動」など、それぞれの視点から選挙の重要性を学習。明るい選挙について理解を深めました。同校の倉澤和広教諭が「大人になったらどんな点に注意して投票しますか」と問いかけると、未来の有権者たちは「よく考え責任ある1票を投じます」とはっきりと答えていました。

山田町の安全・安心を守る活動展 鍵の匠から防犯のこつ学ぶ

2月15日、「県地域安全アドバイザー・建物防犯の匠(鍵の匠)」の水野久志勇さん(住田町・61歳)による防犯講習会が街かどギャラリーで開かれました。14日から18日まで行われた「山田町の安全・安心を守る活動展」(町地域安全推進連絡協議会・町防犯協会主催)の一環として開催されたもので、地区住民ら30人が参加。空き巣犯の手口が紹介されたほか、ドアの鍵の模型を使った防犯性能の説明が行われました。参加した皆さんは、匠の説明に耳を傾けて、防犯のこつを学んでいました。

